

千葉県レスリング協会【昭和 22 年(1947)～昭和 36 年(1961)】

(1) 千葉県におけるレスリング

千葉県におけるレスリングの歴史は昭和 4 年 5 月にレスリング協会の設立されたとよってはじまるが、戦前の昭和 10 年頃には匝瑳中学校出身の菊間寅雄（当時慶応大学）が全日本のメンバーとしてヨーロッパに遠征、活躍している。

この菊間はその後、戦前におけるレスリングの最盛期時代であった昭和 13 年には日米対抗・全日本選手権・フィリピン遠征で活躍し また昭和 25 年第 5 回国民体育大会にも本県代表として出場している。

千葉県に直接レスリングを結びつけた動機は千葉中学校で柔道をやっていた市原要が中央大学に入学してレスリング部に入部したところからはじまり、その後市原裂の勧誘により千葉中学校の今井博久、石井庄八が中央大学に入学してレスリングをはじめ、はからずも中央大学において千葉県のレスリングが芽をふきだしたのである。

またこの頃、佐倉中学校出身の福田健三も中央大学に在学し、レスリング部員として練習にはげみ、昭和 21 年 12 月頃母岐を訪れてレスリングの同好者を集め熱心に指導した。

当時の生徒には、鹿熊勝雄等がいて福田健三の指導を受け佐倉高校レスリングクラブの基礎をつくった。

この新しいスポーツの育成には外部からの援助もあり、とくに佐倉中学校柔道部の先輩である高石寿男の努力も忘れてはならないだろう。

このような基盤のできたところへ池田溢望が佐意高校に赴任して同好会の顧問教師となり、熱心に指導して昭和 23 年から生徒会の正式な運動クラブとして発足したのである。

昭和 23 年の全国高校レスリング選手権大会に本県から佐倉高等学校が最初に出場し、本県高校レスリング部最初の公式試合止なったが成績は不振であった。

この年の第 3 回国民体育大会には中央大学の市原要、今井博久、石井庄八が千葉県選手団の枠外で自費書加し、一般個人フライ級で今井博久が 2 位に入賞してその実力を示している。

かくして国民体育大会に参加するために県体育協会の下部組織であるレスリング協会の設立が必要となり、船橋市に在住していた早稲田大学の OB 西出武が中心となって協会設立の単備にとりかかった。

この西出武の努力と同じ早稲田大学の OB である増富省一、新崎晃（日姓道明晃）さらに慶応大学 OB 菊間寅雄等が協力して協会創立の運びとなったのである。

これらの発起人はすべて戦前における日本レスリング界のトップレベルとして国際競技会・全日本選手権等で活躍した選手ばかりであり、それだけにレスリングに対する情熱もあつく、レスリングの歴史のない本県にとってきわめて幸いなことであった。

こうして昭和 24 年 5 月，市原喪，今井博久、石井庄八の母校である千葉高等学校行動において発会式をあげ，本県初のレスリング公開試合を行ないレスリングの根を本県に植えつけたのであった。

昭和 25 年には西出武にかわって増富省一が煙事長主なり，山口久太（当時県立船織高等学校長）を会長に推挙した。

昭和 26 年には新崎晃が理事長となった。この年日本アマチュアレスリング協会は読売新聞社後鍾によりアメリカの各級選手権保持者もしくは第 2 位の強豪を招くことに成功し日本の各地で国際試合が行なわれた。

本県にもこの全米選抜軍を招いて金千葉軍と試合するととなり，昭和 26 年 8 月 3 日午後 6 時から日米親善対抗レスリング大会を千葉市営競輪場特設競技で符なった。

この大会を行なうために協会の組織も確立されて強固になり円滑な競技会の運営をすることができた。

山口久太会長が大会委員長となり，渡辺敏は大会副委員長として山口会長を補佐した。また本県関係の主な競技役員は次 0 とおりであった。

競技副委員長 新崎晃

総務委員長 松戸節三

渡辺敏 薄井秀一 市原要

審判委員長 西出武

進行委員長 竹尾三男

川野茂

記録委員長 鹿熊勝雄

この試合は本県選手の不利となりアメリカの技術に圧倒され，ひとり石井庄八のみが活躍しただけであった。

さらにこの年は 8 月 25. 26 日両日船橋市宮本中学校講堂において第 2 間金聞高校レスリング選手権大会を全国 25 校の参加を得てはなばなしく開催され. 大会は盛大に行なわれた。

昭和 27 年 6 月 3、4 日。両日，青山レスリング会館においてオリンピック予選が行なわれ，石井庄八がパンタム級で優勝し日本代表選手に選ばれた。

選手団は 6 月 27 日午後 5 時羽田発 SAS 機で勇躍壮途につき，大会のレスリング会場はメスハリの室内体育館であった。

日本選手は 16 年ぶりに五輪旗のもとにたたかきを進め、とくに石井庄八はパンタム級で世界の強豪を薙ぎ倒し、北欧の地に日章旗を高々とかかげたのであった。

このオリピッタ大会には山口久太会長も本部役員として派遣されたが，帰国後山口久太会長は辞意を表明した。

理事長も新崎晃にかわって渡辺敏となり，また会長空席のまま協会運営がなされるようになった。

昭和 29 年に石井庄八が理事長となり、東京都体育館で開催されたフリースタイル世界選手権大会に川野茂(千葉中学校出身)が出場している。

またこの年マニラで開かれた第 2 回アジア大会で福田健三がヘビー級で優勝し金メダルを得ている。

昭和 30 年から今井博久が理事長となり、昭和 34 年に川野茂が今井博久にかわって理事長に就任している。

昭和 35 年神奈川県において開催された世界レスリング選手権大会に日本選手団のコーチとして川野茂。選手に石川忠男(長狭高校出身)が参加し、この 2 人はさらに昭和 36 年ヨーロッパに遠征し活躍している。なお川野茂日本選手団の監督として参加した。

千葉県におけるレスリングを概観すると市原要が千葉中学校の後輩を中央大学レスリ

ソグ部に勧誘し、福田健三が佐倉高校に本県唯一の高校レスリングクラブをつくり、また柏原秀一郎が長狭高校の後輩にレスリングをすすめ、この 3 校が本県レスリソグの根幹をなしているのである。

(2) 主な大会の戦績記録.

イ 国際競技への参加

イ オリンピック大会

ヘルシンキ・オリンピック大会

バンタム級 石井庄八 優勝

1 回戦 石井庄八(日) 判定勝 ヤスカリ(フィンランド)

2 回戦 石井庄八(日) フォール K・アービン(英)

3 回戦 石井庄八(日) 判定勝 ザリパカク(トルコ)

4 回戦 石井庄八(日) 判定勝 シュミック(独)

5 回戦 石井庄八(日) 判定勝 ベステルビ(スウェーデン)

決勝リーグ 石井庄八(日) 判定勝 ジャダブ(イソド)

決戦リーグ 石井庄八(日) 判定勝 コメデコフ(ソ連)

ロ 第 2 回アジア大会(マニラ)

ヘビー級 福田健三 優勝

ハ 世界選手権大会

昭和 29 年 会場 東京体育館

ライト級

1 回戦 川野茂(日) 判定 ベンチラ(フィンランド)

2 回戦 ガバラエフ(ソ連) 判定 川野茂(日)

3 回戦 カンプル(トルコ) 判定 川野茂(日)

昭和 35 年会場神奈川県

ミドル級

石川忠男 出場

ニ 国際親善競技会への参加

昭和 10 年 ライト級 菊間寅雄 ヨーロッパ遠征
昭和 11 年 ウェルター級 増富省一 ベルリン大会
昭和 13 年 ミドル級 菊間寅雄 日米対抗
昭和 13 年 バンタム級 道明 晃 アメリカ遠征
昭和 13 年 菊間寅雄 フィリピン遠征
昭和 25 年 フライ級 今井博久 日米対抗
昭和 25 年 バンタム級 石井庄八 日米対抗
昭和 26 年 バンタム級 石井庄八 アメリカ遠征
昭和 26 年 バンタム級 鹿熊秀雄 アメリカ遠征
昭和 28 年 ライト級 川野茂 アメリカ追征
昭和 36 年 監督 川野茂 ヨーロッパ遠征
昭和 36 年 ミドル級 石川忠男 ヨーロッパ遠征

ホ 国際競技〈日米対抗〉の開催

日 時 昭和 26 年 8 月 3 日午後 6 時試合開始

場 所 千葉市営競輪場特設競技場

全米国 4———1 全千葉(○印勝者)

監督 マンデル 新崎晃(協会理事長)

コーチ 市原要(協会理事)

フライ級○デルガード フォール 今井博久(千葉中学出身)

バンタム級 タリソソ 判定 ○石井庄八(千葉中学出身)

フェザー級○プルバウ 判定 相原秀一郎(長狭中学出身)

ライト級○ピーターソ フォール 福田健三(佐倉中学出身)

ウェルター級○ウェイク 判定 菊間寅雄(匝瑳中学出身)

ロ 国民体育大会の主なる成績

○第 3 回大会 於大傘田市

一般個人フライ級 2 位 今井博久(中大)

○第 4 回大会 於東京ラグビー場体育館

一般団体 3 位 置督 新崎晃 マネジャー 服部和夫

選手 今井博久 石井庄八 相原秀一郎

市原要 竹尾三男 福田健三

一般個人 フェザー級 1 位 市原要(中大)

ウェルター級 2 位 福田健三(中大)

○第 5 回大会 於東海高校

一般団体 1 位 監督 増富省一 マネジャー 新崎 晃

選手 三谷 捻 鹿熊勝雄 竹尾三男
市原要 福田健三 聞間寅雄

高校個人 54.5 級 1 位 大沢 正(佐倉寓校)

○第 6 回大会

一般団体 3 位 監督 新崎晃 コーチ 石井庄八
選手 今井博久 鹿熊勝雄 市原要
竹尾三男 菊間寅雄

高校団体 2 位 監督 池田溢望
選手 岩井 伝 小川徳治 月舘正秀
石渡用一 鳩谷治重 西谷 章
佐藤 浩 吉岡武夫 斎藤国三郎
保岡隆郎 斎藤国三郎

○第 7 回大会 於仙台市仙台高校 尚綱女学院

一般団体 3 位 監督 渡辺 敏
選手 岩井 伝 保岡隆郎 斎藤国三郎
相原秀一郎 福田健三 鳩谷勝夫

高校団体 3 位 監督 吉橋 勇
選手 杉山康治 小坂恵一 小川徳雄
綿貫喜代次 中村直九 杉山忠男
豊田顕義 斎藤泰男

○第 8 回大会 於徳島県池田町池田小学校

一般個人ライト級 1 位 川野茂(中大 OB)

ミドル級 1 位 福田健三(中大 OB)

高校個人 57.5 kg 級 1 位 小坂憲一(佐倉第一高校)

62kg 級 3 位 松原勝雄(佐倉第一高校)

52kg 級 5 位 勝田茂(佐倉第一高校)

54.5 kg 級 7 位 川城進一(佐倉第一高校)

67 kg 級 7 位 杉山忠男(佐倉第一高校)

○第 9 回大会 於旭川市

一般個人 フライ級 2 位 岩井善瞭(中大)

ライト級 1 位 川野茂(中大 OB)

ミドルウェルター級 3 位 福田健三(中大 OB)

高校個人 50kg 級 2 位 愛知貞雄(佐倉第一高校)

54kg 級 5 位 勝田 茂(佐倉第一高校)

58kg 級 6 位 川城進一(佐倉第一高校)

62kg 級 6 位 斎藤定雄(佐倉第一高校)

高校団体 第6位 千葉県高校チーム

○第10回大会 於泰野市営体育館, 大泰野高校

一般個人 ライト級 1位 川野茂(中大OB)

高校個人 4位 伊藤敏雄(佐倉第一高校)

4位 大谷利春(佐倉第一高校)

4位 出山嘉一(佐倉第一高校)

高校団体 第6位 千葉県高校チーム

○第11回大会 於西脇高校・西脇中学校

高校個人 52kg級 2位 小林敏(佐倉第一高校)

69kg級 2位 村島勝利(佐倉第一高校)

58kg級 2位 桜井豊(佐倉第一高校)

○第12回大会 於掛川西高校

一般個人 フライ級 2位 大谷利春(佐倉一高OB)

ライトヘビー級 1位 川野茂(中大OB)

高校個人 61kg級 3位 金子秀夫(佐倉第一高校)

6位 宮内孝憲(佐倉第一高校)

○第13回大会 於滑川高校・田中小学校

一般個人 フェザー級 5位 佐藤

ミドル級 8位 杉山忠夫(法大)

ライトヘビー級 2位 川野茂(中大OB)

高校個人 58kg級 4位 竹内三郎(佐倉第一高校)

61kg級 2位 金子秀雄(佐倉第一高校)

69kg級 8位 鈴木勘之(佐倉第一高校)

○第14回大会 於東京教育大学体育館

一般個人 フライ級 5位 宮内孝憲(中大)

バンタム級 4位 大谷俊春(日大)

ウェルター級 1位 渡辺修(日大)

ミドル級 2位 石川忠男(日大)

ライトヘビー級 2位 川野茂(中央大学職員)

ヘビー級 3位 栗本良一(早大)

○第15回大会 於玉名中学校・玉名農業高校

一般個人 フェザー級 6位 鹿熊勝昭(中大)

ライト級 5位 村島勝利(法大)

ミドル級 8位 石川忠男(日本)

ライトヘビー級 4位 川野茂(中大OB)

ヘビー級 7位 杉山忠男(トヨタ自動車KK)

高校個人 55 kg級 7位 吉岡勝男(佐倉第一高校)

○第16回大会 於五城目第一中学校

一般個人 ミドル級 2位 石川忠男(東京日産自動車KK)

ライトヘザー級 7位 川野茂(中央大学職員)

フライ級 8位 宮内孝憲(中大)

高校個人 65 kg級 7位 松井新平(佐倉高校)

ハ 全国高校大会の主なる成績

○第2回全国高校選手権(昭和24年) 於早大体育館

ジュニアフェザー級 1位 大沢正 (佐倉)

バンタム級 1位 永野 (佐倉)

○第1回風間杯全国大会全(昭和25年) 於新潟市

団体 3位 佐合高校チーム

個人 1位 大沢正(佐倉高)

○第2回全国大会(昭和29年) 於船橋市

団体決勝 新潟高校3-2 佐倉高校(第2位)

個人 フライ級 1位 岩井善瞭(佐倉高)

バンタム級 1位 小川徳治(佐倉高)

フェザー級 1位 月館正秀(佐倉高)

○第3回全国高校大会(昭和27年)

54.5 kg級 2位 小川徳治(佐倉一高)

57 kg級 3位 中村克九(佐倉一高)

67 kg級 2位 豊田(佐倉一高)

○第1回全国高校選抜選手権(昭和28年) 於新潟市

団体準決勝 佐倉一高4-3 慶應高

決勝 明訓高 6-1 佐倉一高

個人 64.5 kg級 1位 中村克九(佐倉一高)

54.2 kg級 2位 綿貫喜代次(佐倉一高)

57 kg級 3位 小坂恵一(佐倉一高)

○第4回全国高校大会(昭和28年) 於東京都

個人 54.2 kg級 2位 川城進一(佐倉一高)

54.2 kg級 3位 綿貫喜代次(佐倉一高)

57 kg級 2位 小坂恵一(佐倉一高)

64.5 kg級 1位 中村克九(佐倉一高)

○第2回全国高校選抜選手権(昭和29年) 於新潟市

個人 54 kg級 3位 勝田茂(佐倉一高)

○全国高校選抜選手権(昭和30年) 於新潟市

個人 3位 伊藤敏雄(佐倉一高)
3位 村島野利(佐倉一高)
3位 内野実(佐倉一高)
3位 桜井豊(佐倉一高)

○全国高校大会(昭和30年)

個人 2位 大谷利春(佐倉一高)
3位 桜井豊(佐倉一高)

○全国高校大会(昭和33年) 於東京都

個人 61kg級 1位 金子秀雄(佐倉一高)